

第2回塩竈市立学校規模適正化等検討委員会

日時：令和6年8月20日（火）

18時00分～

会場：壺番館4階（視聴覚室）

次 第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 会長挨拶
4. 資料説明
 - (1) 学校規模適正化に係るこれまでの取組について
 - (2) 学校施設の老朽化対策等について
5. 議事
学校規模の適正化等に関する方針（案）に係る構成について
6. その他
7. 閉会

令和6年8月20日

第2回塩竈市立学校規模適正化等検討委員会

1. 学校規模適正化に係るこれまでの取組について…………… 1
2. 学校施設の老朽化対策等について…………… 5

学校規模の適正化に係るこれまでの取組について

1. 学校規模適正化の取組に関する先進地視察の概要について

(1) 亘理町（令和5年4月12日実施）

- 令和2年2月から検討開始し、令和4年度に小・中学校再編に係る基本構想を策定
- 中学校の再編を先行して進めている。

令和10年 亘理中学校と吉田中学校を統合（亘理中学校の校舎を活用）
逢隈中学校と荒浜中学校を統合（逢隈中学校の校舎を活用）

- 小学校については、複式学級が避けられない学校が予測された時点で改めて検討を始めることとした。

⇒市民（地域）に対し、アンケートの結果や児童生徒の推移、施設維持費などの数値を根拠に丁寧に説明した結果、同意を得られた。

(2) 大崎市（令和5年5月22日実施）

- 平成20年3月から検討開始し、平成23年度に「学校教育環境整備指針」を策定
- 主に、平成24年度から小学校の再編を進めている。

- ①意見交換会の実施…PTAや地域住民を対象に趣旨を説明し、意見交換を実施
- ②検討委員会を設置…合同検討委員会を組織し、PTAや地区団体（地区振興協議会）と検討を重ねる。
- ③説明会の開催…PTAや地域住民への説明会を開催し、理解を得る。
- ④準備委員会の設置…校名や教育課程、制服、通学方法など、学校の統廃合に向けた具体的な協議を実施

⇒市民への丁寧な説明や合意までに時間を要し、再編実施が遅れた。

(3) 加美町（令和5年5月22日実施）

- 平成19年度 中学校再編計画基本方針を策定
- 平成24年度 基本方針の見直し
- 令和元年度 新たな基本方針の策定
- 中学校の再編を先行して実施

令和5年4月「鳴峰中学校」開校
宮崎中学校と小野田中学校を統合（小野田中学校の校舎を活用）

- 小学校に関する再編計画は無いが、複式学級が生じた際に統合の検討を始める。

⇒当初案を見直し（学校統合の位置を変更し）、さらに行政から一方的に提示したために、住民から同意を得るまでに時間を要した。

(4) 色麻町（令和5年5月22日実施）

○平成20年度に小学校と中学校の統合を決定

平成26年4月 小中一貫校（校舎一体・併設型）の「色麻学園」開校
色麻小学校と清水小学校を統合し、色麻中学校校舎の隣接敷地に小学校を新築

○令和5年4月から、小中一貫校から「義務教育学校」へ移行。教職員の配置や小中それぞれの専門性を生かした指導が容易などの利点が多くある。

⇒義務教育学校へ移行したことで、小中それぞれの専門性を生かした指導により、教育活動の充実が図られた。

(5) 気仙沼市（令和5年6月7日実施）

○平成23年1月に気仙沼市義務教育環境検討委員会設置、諮問

- ・学校規模、配置の適正化の基本的な考え方
- ・具体的な学校配置案
- ・学校規模、配置の適正化に向けた具体的な方策
- ・その他義務教育環境整備に向け必要となる事項 について審議

○平成24年10月に検討委員会より市長並びに教育長へ答申

○平成25年6月、「気仙沼市義務教育環境整備計画（平成24～33年度の10年間）」を策定

【小学校】

- ◇ 第1段階（平成24～26年度）…緊急性のある統合
- ◇ 第2段階（平成27～29年度）…複式学級解消に向けた統合
- ◇ 第3段階（平成30年～33年度）…適正規模・配置化を目指した統合

【中学校】

- ◇ 第1段階（平成24～26年度）…緊急性のある統合
- ◇ 第2段階（平成27～29年度）…規模の小さい学校の統合
- ◇ 第3段階（平成30～33年度）…適正規模・配置化を目指した統合

○平成27年度から整備計画の見直しの検討を開始。児童生徒数の予測・地域コミュニティの変化・復興の状況の変化に対応するため、関係する学校の保護者や地域住民との懇談会を開催

○平成28年5月に「気仙沼市義務教育環境整備計画見直し」を策定

⇒条南中学校と気仙沼中学校の統合の際は反対が多かったが、保護者に対し、教員の配置数や今後見込まれる生徒・学級数など、具体的な数字を示しながら説明を行ったところ、理解が得られた。

2. 意見交換会で寄せられた意見（主なもの）

（1）学校の数についての意見

項目	意見
学校の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玉小と一小を一つにする ・ 玉小の老朽化を考え、玉小を一小と月見小に分ける ・ 小中一貫校がよい（中学生も小学校低学年を見たら優しい気持ちに） ・ 三中は賃料が高いためなくす（三小に三中、校舎合併型・小中一貫） ・ 一小と一中、二小と二中の統合 ・ 杉小と二中、玉小と月見小と玉中を統合 ・ 一中、三中の統合 ・ 市全体の中で小規模、中規模、大規模校を全部用意し、学校を選択 ・ 中高一貫校をつくる

（2）学校の規模についての意見

項目	意見
学校の適正規模	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校は1学年2～3学級（競争心、人間関係生まれる） ・ 中学校は1学年3～4学級 ・ 小規模だと不登校の子どもが通い辛い ・ 学級編成が毎年変わるような学級の数 ・ 学級が多いと教員が困ったときに尋ねられる教員が多くいる。ベテラン層と若手層が ・ いるのでやりやすく、3～4学級がよい ・ 勉強や部活、行事を考えると、ある程度の児童生徒数が必要（再編、統合、学区）
少人数の学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の学級数より学級の生徒数を30人以内に ・ 1学級30人が適正 ・ 1学級最大25人とする ・ 1学級20～30人がよい、教員が一人にかけられる時間が増える ・ 1学級40人は多い、人間関係的には良いかもしれないが、20人未満だと多様な意見が出にくい。1学級の児童数は20～30人がよい ・ 人数にとられない学級編制 ・ 他校との交流を活発に行うことで、少人数学校も色々な人間と触れ合い成長 ・ 教員との距離が近く、みんなで声かけられる ・ 先生たちが手取り足取り教えてくれて、おおらかに育つことができる ・ 人間関係が深まりやすい ・ 目が行き届く（万引きなどの悪行の心配がない） ・ ケガ、事故の心配が少ない ・ P T A、横のつながりができる（役員でなくても）
大規模校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人がいることで競争できて伸びる子もいる ・ 将来社会に出た時に色々な人に対応できる子どもが育つ ・ 切磋琢磨 ・ 人間関係を考慮すると、クラス替えも必要
小中一貫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの成長が見える ・ 小、中合同の行事（縦割りのつながりができる） ・ 全校生徒の名前を覚えられる（小規模・小中一貫の場合）

- ・中学校教員が小学生を教えるなど、小学校と中学校で教員を分けない
- ・中学生を見て、小学生が学べる
- ・中学生が小学生のお世話をすることで中学生が優しい気持ちになる
- ・複数の小学校から一つの中学校に入学することで「中1ギャップ」が生じる（不登校の要因）

（３）その他の意見

項 目	意見
再編の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・特色のある学校をつくる ・同規模の市を参考に学校数を検討する ・学校数を減らす、学校数多い、統合やむを得ない ・小・中各1校だけつくり、100円バスで通う ・大規模校にして施設を充実させる ・全国一の設備で新規開校 ・特別支援教育が充実した学校をつくる ・塩竈の良さを生かした魅力ある学校づくり（水産関係の授業を取り入れる等） ・学校をなくすというのは難しい。施設を統合、共有していくのはどうか
通学区域・ 通学路・ 通学方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学区について、少ないところと少ないところをくっつけるという話ではない ・学区の再編。大きな道路を歩いていける学校を学区にする ・自宅から近い小学校を選べるよう学区の見直し ・小学校は徒歩で行けるよう近くに ・二小学区（藤倉・千賀の台）の中学校について、一中か二中かを選択できるとよい ・学区を自由選択できるようにした場合、特定の学校にだけ集まりすぎるのでは ・小規模、大規模両方作って選択できるようにする ・学校が選択できたらよい ・学区をなくす ・中学校は部活もあるので特色のある学校を好きなように選べるようにする ・歩ける範囲の学校に通わせたい ・スクールバスがあるとよい（学校が減る場合や選択制の場合） ・中学校は自転車通学を可能とする
学校と地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校と家庭が一緒になって子どもたちを育て上げる学校にしたい ・学校は地域のコミュニティの中心。地域に青写真のようなものを示して ・子ども会などの活動がなく、地域につながりがいい。一貫校により縦のつながりを ・地域と子ども、子ども同士の交流を増やす
学校施設・ 関連施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修をする際は施設の使い勝手をしっかり考えてやっていく ・合併後に余った学校を不登校の子どものために ・老朽化が顕著。各校の建て替えは難しいのでは ・（建て替えるとしても）現在の場所に建て替えるほかないのでは ・学校施設の一部に世代間交流施設などを設置し、地域コミュニティの中心としては ・自校給食は続いてほしい ・給食室や調理設備の老朽化が心配 ・現在のプールは衛生的に心配。各校のバスを利用して温水プールに行けるとよい ・夏以外も入れるため回数も増えてよい

学校施設の老朽化対策等について

1. 老朽化対策

安全・安心で快適な教育環境を実現するため、下記により老朽化対策に取り組んできました。

(単位：千円)

No	施設名	施工期間（年度）	施工内容（主なもの）	事業費（うち国庫支出金）
1	玉川小学校	H19	≪大規模改造事業≫ 箇所：北校舎、南校舎、屋内運動場 内容：内外装改修、給食室撤去・配膳室設置、電気設備更新、機械設備更新	233,638 (61,635)
2	第三小学校	H25～H26	≪大規模改造事業≫ 箇所：北校舎、東校舎 内容：内外装改修、建具改修、防火戸設置、屋内消火栓更新、給排水設備更新、電灯設備改修	559,124 (125,626)
3	月見ヶ丘小学校	H28～H29	≪長寿命化改良事業≫ 箇所：2～4号校舎、渡り廊下 内容：内外装改修、建具改修、電灯設備改修、給排水設備改修、消防設備改修	162,528 (51,830)
4	第三中学校	H30～R1	≪長寿命化改良事業≫ 箇所：西校舎、北校舎 内容：内外装改修、建具改修、電気設備改修、給排水設備改修、消防設備改修、渡り廊下改修、外構工事	599,904 (187,867)
5	第一小学校	R2～R4	≪長寿命化改良事業≫ 箇所：南校舎、北校舎 内容：内外装改修、建具改修、電気設備改修、給排水設備改修、消防設備改修	498,851 (143,561)
6	第二中学校	R4～R8（予定）	≪長寿命化改良事業≫ 箇所：南校舎、北校舎、屋内運動場 内容：内外装改修、建具改修、電気設備改修、機械設備改修	2,210,138 (489,940)

※事業費のうち、No. 1～5 は実績額です。No. 6 は見込み額です。

※大規模改造事業は、経年による劣化や損傷・故障等が生じた内外装材や設備等を改修するなど、建設当時の状態に戻すことを主な目的としています

※長寿命化改良事業は、建設当時の状態に戻すことのほか、構造体の劣化防止やライフラインの更新、教育環境の改善等を目的としています。

2. 施設管理（令和3年度～令和5年度）

教育環境の維持向上を図るため、下記により施設管理に取り組んできました。

《令和3年度》

(単位：千円)

区分	学校名	件名	事業費	
小学校	施設整備	第一小学校	遊具（ジャングルジム）撤去	275
		第二小学校	体育館屋根改修、教室内梁改修 ほか	27,258
		月見ヶ丘小学校	運動器具倉庫解体工事	550
		玉川小学校	北校舎屋上防水改修	1,265
		浦戸小中学校	管理棟外壁改修	3,392
		計		32,740
	施設修繕	第一小学校	図工室エアコン移設修繕、教室網戸修繕 ほか	1,498
		第二小学校	外部階段袖壁修繕、階段室内壁クラック修繕 ほか	1,637
		第三小学校	プールろ過装置修繕、プール給水管修繕 ほか	859
		月見ヶ丘小学校	プールろ過装置修繕、給水管漏水修繕 ほか	744
		杉の入小学校	プールろ過装置修繕、1階土間給水管漏水修繕 ほか	1,354
		玉川小学校	プールろ過装置修繕、天井漏水修繕 ほか	1,744
		浦戸小中学校	天井雨漏等修繕	462
	計		8,298	
小学校計			41,038	
中学校	施設整備	第一中学校	校舎出入口改修、中央棟外壁改修	1,678
		第二中学校	教室棟給水管洗浄	1,155
		第三中学校	運動器具倉庫解体、体育館外壁応急復旧	1,265
		玉川中学校	エキスパンションジョイント等復旧、校内外灯改修 ほか	1,617
		計		5,715
	施設修繕	第一中学校	プールろ過装置修繕、天窗ガラス修繕 ほか	1,187
		第二中学校	プールろ過装置修繕、プール排水管破損漏水修繕 ほか	1,539
		第三中学校	プールろ過装置修繕、体育館水銀灯ランプ修繕 ほか	1,803
		玉川中学校	汚水排水桝修繕、3階女子トイレ修繕 ほか	918
		浦戸小中学校	天井雨漏り修繕	315
	計		5,762	
防災機能強化	第一中学校	既存トイレ改修（便座交換、床面改修）、多目的トイレ新設	98,873	
	計（うち国庫支出金）		98,873 (30,159)	
中学校計（うち国庫支出金）			110,350 (30,159)	
小・中学校合計（うち国庫支出金）			151,388 (30,159)	

※施設整備、施設修繕のほか、排水管の清掃業務や消防設備の点検業務などを委託しています。

委託事業決算額 小学校：12,264千円 中学校：8,752千円

区分	学校名	件名	事業費		
小学校	施設整備	第三小学校	体育館バスケットゴール撤去、エアコン増設 など	4,448	
		月見ヶ丘小学校	エアコン増設	888	
		杉の入小学校	1階給水管改修	1,276	
		玉川小学校	屋上防水、校庭土留め、エアコン増設	7,314	
		計		13,926	
	施設修繕	第一小学校	ガラス修繕、雨水配管破損修理 ほか	983	
		第二小学校	受水槽・高架水槽修繕、電気ハンドホール蓋補修 ほか	704	
		第三小学校	外トイレ漏水修繕、チャイム放送不鳴動修繕 ほか	1,712	
		月見ヶ丘小学校	家庭科室流し台修繕、体育館扉シリンダー交換 ほか	654	
		杉の入小学校	グラウンド修繕、トイレ詰まり修繕 ほか	743	
		玉川小学校	プール配管漏水修繕、体育館屋根応急修理 ほか	577	
		計		5,373	
	防災機能強化	第二小学校	防球ネット撤去・新設	4,950	
		第三小学校	防球ネット撤去・新設	7,964	
		計(うち国庫支出金)		12,914 (4,347)	
	小学校計(うち国庫支出金)			32,213 (4,347)	
	中学校	施設整備	第一中学校	武道場天井落下防止対策	2,820
			第二中学校	多目的室エアコン設置、美術室エアコン設置 ほか	2,948
			玉川中学校	昇降ロスロープ等設置、木製通路新設、体育館軒天等補修 ほか	4,252
計				10,020	
施設修繕		第一中学校	体育館入口サムターン修理、ガラス修繕 ほか	751	
		第二中学校	高架水槽修繕、プールろ過配管修繕 ほか	1,053	
		第三中学校	プール給水管漏水修繕	347	
		玉川中学校	教室内蛍光灯修繕、階段室ノンスリップ修繕 ほか	744	
		浦戸小中学校	浄化槽ブローア破損漏水修繕	71	
		計		2,966	
防災機能強化		第二中学校	防球ネット撤去・新設	15,345	
		計(うち国庫支出金)		15,345 (5,166)	
中学校計(うち国庫支出金)			28,331 (5,166)		
小・中学校合計(うち国庫支出金)			60,544 (9,513)		

※施設整備、施設修繕のほか、排水管の清掃業務や消防設備の点検業務などを委託しています。

委託事業決算額 小学校：12,726千円 中学校：9,192千円

区分	学校名	件名	事業費	
小学校	施設整備	第一小学校 杉の入小学校	防火シャッター危害防止装置設置	5,665
		第二小学校	プール給水管改修	1,287
		第二小学校 杉の入小学校	PAS・TR(受電機器)更新工事	3,784
		第二小学校	北校舎外壁改修、昇降口軒天改修	5,280
		玉川小学校	北校舎外壁改修、屋上防水補修 ほか	7,823
		計(うち県支出金)		
	施設修繕	第一小学校	プールシャワー配管漏水修理 ほか	528
		第二小学校	受水槽・高架水槽修繕 ほか	460
		第三小学校	暖房機修理、草刈り機修繕 ほか	67
		月見ヶ丘小学校	漏水修理、トイレ入替修理 ほか	1,172
		杉の入小学校	受水槽バルブ修繕、サッカーゴール修理 ほか	989
		玉川小学校	プール排水溝蓋修繕、雨漏り部天井撤去 ほか	602
		浦戸小中学校	受水槽ブロワーベルト交換修繕	4
		4校	遊具撤去(二小、月見小、杉小、玉小)	4,620
	計			8,442
小学校計(うち県支出金)			32,281 (1,333)	
中学校	施設整備	第一中学校	武道場天井落下防止対策	1,265
		第二中学校	崖地落石防止対策	14,274
		第三中学校	給食室汚水排水設備改修、給食室グリーストラップ改修	5,546
		玉川中学校	北校舎外壁等改修、バックネット補修	9,273
		浦戸小中学校	職員室エアコン更新	1,298
		計		
	施設修繕	第一中学校	建具開閉不良修繕、朝礼台破損部修繕	933
		第二中学校	プール本体塗裝修繕 ほか	597
		第三中学校	排水処理槽ブロワー交換 ほか	696
		玉川中学校	大型モニター修繕、高架水槽修繕 ほか	374
		浦戸小中学校	プール排水弁修繕、暖房ボイラー修繕 ほか	795
	計			3,395
	防災機能強化	玉川中学校	吊り下げ式バスケットゴール撤去	4,895
		浦戸小中学校	トイレ改修	31,421
		計(うち国庫支出金)		
中学校計			71,367 (8,980)	
小・中学校合計(うち国庫支出金・県支出金)			103,648 (10,313)	

※施設整備、施設修繕のほか、排水管の清掃業務や消防設備の点検業務などを委託しています。
委託事業決算額 小学校：11,280千円 中学校：16,625千円

他市町村における学校規模適正化基本方針等の構成例①②

① 大阪市立小学校学校配置の適正化の推進のための指針 (R2.4) (275.3万人)	② 奈良市学校規模適正化基本方針 (H19.4) (35万人)
<p>指針策定の主旨</p> <p>I これまでの経過</p> <p>II 児童数の推移及び現状</p> <p>III 適正化に向けた今後の推進のための基本的な考え方</p> <p>1 適正化対象校の区分</p> <p>2 適正配置の手法</p> <p>3 適正配置の基本的な考え方</p> <p>4 適正配置相手校の選択基準</p> <p>5 適正配置において満たすべき条件</p> <p>6 学校配置の適正化に向けた進め方</p> <p>7 学校再編整備を進める上で配慮すべき事項</p> <p>8 統合校への教育環境等において配慮すべき事項</p> <p>9 その他</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前段で、これまでの取組の経過や現状について示す ・ 以降は、基本的な考え方や方針、方向性について示す </div>	<p>はじめに</p> <p>小・中学校編《第1部》</p> <p>～小・中学校の適正化に関する基本的な考え方～</p> <p>1 市立小中学校の状況について</p> <p>(1) 児童生徒数及び学校数の推移</p> <p>(2) 学校の小規模化と学校間の差</p> <p>(3) 1学級当りの児童生徒数</p> <p>(4) 通学区域の状況</p> <p>2 学校の小規模化・大規模化に伴う問題点について</p> <p>(1) 小規模校のメリット・デメリット</p> <p>(2) 大規模校のメリット・デメリット</p> <p>3 適正な学校規模についての基本的な考え方について</p> <p>(1) 1学級当りの児童生徒数について</p> <p>(2) 適正な学校規模について</p> <p>4 望ましい学校規模に基づく配置の考え方について</p> <p>(1) 適正な学校規模確保に向けた取組について</p> <p>(2) 適正規模確保の取組に当たって配慮すべき事項について</p> <p>5 一人ひとりに応じた多様な学びの支援について</p> <p>6 その他の教育環境の整備について</p> <p>小・中学校編《第2部》</p> <p>～地域別の学校規模適正化～</p> <p>1 地域別の学校規模適正化に関する考え方</p> <p>(1) 適正化の実施期間について</p> <p>(2) 地域別の区分について</p> <p>(3) 適正化の内容について</p> <p>(4) 適正化の対象校</p> <p>(5) 適正化の進め方</p> <p>2 地域別の学校規模適正化について</p> <p>(1) 西北部ゾーン</p> <p>(2) 中部ゾーン</p> <p>(3) 中央市街地ゾーン</p> <p>(4) 南部ゾーン</p> <p>(5) 東部ゾーン</p> <p>(6) 月ヶ瀬ゾーン</p> <p>(7) 都祁ゾーン</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きく2部構成 ・ 第1部は市全体としての基本的な考え方や方向性を示す ・ 第2部は地域別の考え方や進め方を示す </div>

他市町村における学校規模適正化基本方針等の構成例③④

③ (広島県) 三次市立小・中学校の規模及び配置の適正化について【基本方針】(R4.3) (5.3万人)	④ 亘理町立小・中学校再編に係る基本構想 (R5.5) (3.2万人)										
<ol style="list-style-type: none"> 1 はじめに 2 国の動向 3 三次市立小中学校の現状 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒数の推移 (2) これまでの規模適正化の現状 (3) 通学区域の自由化制度の利用状況 (4) 小中一貫教育の取組の成果と課題 (5) ICTの活用状況 (6) 学校規模による教育活動の特徴 4 学校規模及び配置の適正化に向けて <ol style="list-style-type: none"> (1) 通学区域の自由化制度 (2) 部活動指導 (3) ICTの活用 (4) 小中一貫教育の充実 5 学校規模及び配置の適正化における基本的な考え方(基本方針) <ol style="list-style-type: none"> (1) 適正規模 (2) 規模及び配置の適正化の対象 (3) 学校の適正化の検討を始める時機 (4) 適正化に向けた基本的な進め方 6 『三次市立小・中学校の規模及び配置の適正化』に係る基本方針の見直しについて 7 おわりに <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・前段で、現状や課題について示す ・以降は、基本的な考え方や方針、方向性について示す </div>	<p>はじめに</p> <p>目次</p> <p>序章 児童生徒数の推移</p> <p style="padding-left: 20px;">児童数の推移</p> <p style="padding-left: 20px;">生徒数の推移</p> <p>第1章 学校再編の必要性</p> <p style="padding-left: 20px;">学校規模の適正化が課題となる背景</p> <p style="padding-left: 20px;">学校規模の標準</p> <p style="padding-left: 20px;">亘理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会</p> <p style="padding-left: 20px;">亘理町立小・中学校の教育環境の整備に関する報告書</p> <p style="padding-left: 20px;">学校再編の必要性のまとめ</p> <p>第2章 亘理町立小・中学校の現状</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">亘理小学校</td> <td style="padding-left: 20px;">荒浜小学校</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">吉田小学校</td> <td style="padding-left: 20px;">長瀬小学校</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">逢隈小学校</td> <td style="padding-left: 20px;">高屋小学校</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">亘理中学校</td> <td style="padding-left: 20px;">荒浜中学校</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">吉田中学校</td> <td style="padding-left: 20px;">逢隈中学校</td> </tr> </table> <p style="padding-left: 20px;">現状のまとめ</p> <p>第3章 仙台教育事務所管内・近隣市町の状況及び教員の思い</p> <p style="padding-left: 20px;">仙台教育事務所管内及び近隣市町の状況</p> <p style="padding-left: 20px;">町立学校に勤務する教員の思い</p> <p>第4章 学校再編の時期とその方法</p> <p style="padding-left: 20px;">報告書の検討</p> <p style="padding-left: 20px;">亘理町教育委員会の方針</p> <p style="padding-left: 20px;">小中学校再編に係る課題</p> <p>おわりに</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・前段で、現状や今後の推移、適正化の必要性について示す ・3章では、学校ごとの現状や教員の意見にスポットを当てている。 </div>	亘理小学校	荒浜小学校	吉田小学校	長瀬小学校	逢隈小学校	高屋小学校	亘理中学校	荒浜中学校	吉田中学校	逢隈中学校
亘理小学校	荒浜小学校										
吉田小学校	長瀬小学校										
逢隈小学校	高屋小学校										
亘理中学校	荒浜中学校										
吉田中学校	逢隈中学校										

他市町村における学校規模適正化基本方針等の構成例⑤

⑤浦安市学校規模適正化基本方針【改訂版】

(R6.3) (17万人)

第1章 はじめに

1. 基本方針の概要
2. これまでの経緯

第2章 児童生徒数の現状

1. 小中学校別の児童生徒数の推移
2. 地域別の児童生徒数の推移

第3章 学校規模適正化の基本的な考え方

1. 学校規模適正化の基本的な視点
2. 学校規模の適正化に向けて
3. 本市における学校の適正規模・適正化の考え方
4. 将来の学校規模の動向
5. 小規模校における適正化の具体的な手法
6. 大規模校における適正化の具体的な手法

第4章 今後の方向性

1. 将来における児童生徒数の増加の可能性について
2. 今後の学校規模適正化の方向性

- ・前段で、これまでの経過や現状、今後の推移について示す
- ・以降は、基本的な考え方や方針、今後の方向性について示す

【市町村の選定方法】

- ①「学校規模適正化」で検索
- ②「方針」「指針」「計画」「提言」等に関する資料の掲載が確認できた市町村を抽出